

令和8年度 シラバス 【芸術】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材						
音楽 I	2	1学年	27教育芸術社 音 I 027-902 高校生の音楽1	なし						
<p>◇科目の概要と目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化に親しみ、感性を高める。</li> <li>我が国や諸外国の音楽、音楽文化について知識、理解を深め、多様な表現を味わうことができる。</li> <li>表現したいイメージをもって曲の意味や背景と音楽を形づくっている要素を関連させながら演奏することができる。</li> <li>音楽表現をするために必要な専門知識や演奏技能を身に付ける。</li> <li>生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み、生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</li> </ol> <p>◇科目の観点別評価の目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>曲想や音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</td> <td>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</td> <td>主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。</td> </tr> </tbody> </table>					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	曲想や音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度								
曲想や音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、自己のイメージをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。								
月	4月	5月		6月	7月					
科目名	単元	単元	単元	単元	単元					
音楽 I	器楽・鑑賞 「Jupiter(木星)」 「天国と地獄」 「グリーンズリーヴス」	歌唱「夏の思い出」 歌唱・鑑賞「野ばら」	中間考査	「楽典」	鑑賞「音楽って何だろう?～人間と音楽の多様な関わり」 ・声明、クレゴリオ聖歌 ・映画音楽「ハリイ・ポッターと賢者の石」 など ・著作権	期末考査				
知識・技能	曲の特徴を感じ取ってよさや美しさを味わいながら鑑賞したり、基礎的なリコーダーの奏法を身に付けて演奏したりできているか評価する。	歌詞の意味や背景を理解して歌ったり鑑賞したりすることができているか評価する。		音楽の基礎知識を理解することができているか評価する。	音楽が私たちの日常生活や文化、歴史的背景にどのような影響を与えたのかについて関心をもち、鑑賞の学習に取り組むことができているか評価する。					
思考・判断・表現	どのように演奏したいかイメージもち、練習に取り組んでいるか評価する。	曲に合った言葉の発音、身体の使い方ができているか評価する。		音楽の専門的な知識を身に付ける学習を通して、音楽的な見方・考え方を養うことができたか評価する。	音楽にどのような特徴や良さがあるか理解し、日常生活や文化、歴史的背景との関わりについて考えながら、音楽の特徴やよさや美しさを味わうことができたか評価する。					
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。		ワークシートや小テストを評価の参考にする。	ワークシートを評価の参考にする。					
月	7月	9月	10月	11月	12月					
科目名	単元	単元	単元	単元	単元					
音楽 I	歌唱 ヴォイスアンサンブル 「サザエさん」	音楽史 「古代ギリシャ～現代」	中間考査	器楽 トーンチャイム	鑑賞 「世界の諸民族の音楽」	期末考査				
知識・技能	パートの役割を意識しながら、声の重なりや響きの豊かさを感じ取ることができているか評価する。	西洋音楽の特徴をつかみ、各時代の作曲家について理解し、多様な音楽の美しさを味わうことができる。		トーンチャイムの特徴や演奏方法について理解し、楽しみながら器楽アンサンブルに取り組むことができているか評価する。	世界の様々な伝統音楽に触れ、文化の多様性を理解して鑑賞できているか評価する。					
思考・判断・表現	曲の特徴を感じ取りながらハーモニーや強弱、リズムについて話し合いをしたり、考えたりすることができているか評価する。	多様な音楽的価値について考え、音楽の歴史について深く理解することができたか評価する。		旋律の動きと自分の役割の関連について考え、音色の響きを感じ取りながら演奏することができているか評価する。	多様な音楽的価値について考え、我が国や諸外国の音楽や音楽文化の違い、よさや美しさを味わうことができたか評価する。					
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートや小テストを評価の参考にする。		練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートを評価の参考にする。					
月	12月	1月	2月	3月 年間						
科目名	単元	単元	単元	学年末考査	総合評価					
音楽 I	創作 「イメージに合わせた音楽づくり」	器楽・鑑賞 「箏」	鑑賞 「歌舞伎 勲進帳」 「能 道成寺」							
知識・技能	イメージをもって場面に合わせた音楽を作ることができたか評価する。	曲の特徴を感じ取ってよさや美しさを味わいながら鑑賞したり、基礎的な箏の奏法を身に付けて演奏したりできているか評価する。	日本の伝統芸能がもつ多様な表現を味わいながら、興味をもって鑑賞することができたか評価する。		様々な音楽や音楽芸術に対する興味、関心をもち、主体的にや鑑賞の学習に取り組もうとしている。					
思考・判断・表現	表現したいイメージをもち、音の重なり、つながり、リズム、強弱の変化についてグループで考え、意欲的に創作活動に取り組めたか評価する。	箏の特徴と音楽を形づくっている要素との関連性について考えながら、演奏に取り組むことができているか評価する。	物語と音楽の関わりについて考えながら、歌舞伎や文楽のよさや美しさを味わうことができたか評価する。		音楽を形づくっている要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ、自己やグループでの音楽表現について考え、工夫することから曲に応じた身体の使い方、奏法、創作の技能を身に付け、それを表現することができる。					
主体的に学習に取り組む態度	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	練習に取り組む姿勢、演奏、ワークシートを評価の参考にする。	ワークシートを評価の参考にする。		音楽に関する諸活動を通して、音楽や音楽芸術がもつよさや美しさを味わい、興味関心を高めながら自分自身の言葉で伝えることができる。					